



愛媛日産ニュースリリース



2024/10/19.20 第6号

愛媛日産では店舗でお客様のクルマを扱う整備士が日本最高峰の自動車レースの世界でも活躍しています。

日産メカニックチャレンジとは、「ひとりでも多くの若者をクルマ好きにしたい」という思いから2019年にスタートした、日産自動車・日産自動車大学校・KONDO RACING が共同で取り組む人財育成プロジェクトです。全国の日産販売店から選抜されたテクニカルスタッフ(以下TS)と日産自動車大学校の学生が、近藤真彦監督率いるKONDO RACING と共に、国内最高峰レースである「SUPER GT・GT300」の舞台に挑んでいます。TSはレース1週間前から予選、決勝日までKONDO RACING TEAMと全ての活動を共にしています。日々の業務で培った技術力を武器に、チームの一員としてレーシングカーの整備などを行うことで勝利に貢献するだけでなく、普段の業務では得ることのできないスキルや経験の獲得を目指した活動です。

愛媛日産では日産メカニックチャレンジに参加したTSにレース当日は密着取材をしております。憧れだったレーシングカーのピットで、そのチームの一員として参加ができた想いと、1/1,000秒を切り詰める張り詰めた緊張感の中で、レーシングカーを整備して感じたものとは何か? 普段から店舗でお客様の車両を整備する中で、この経験をどう生かすのかという決意まで。数々の整備士が踏み出した、新たな挑戦を記録しています。



以下に記載しているコメントは、スーパーGT2022 Round.7 オートポリスに参加した先輩スタッフのコメントです。店舗にも掲載しておりますのでご来店の際にはご覧になってください。

「慎重に素早く、正確に。日常の業務とは全くと言っていいほどの違いがあり、ファクトリーでの事前学習が非常に役に立った。じっくりレース車両について学んでからサーキット入りをしたので、クルマの取り扱いや準備、整備作業も不安なくスムーズにできた。実に細かいところまで意識が行き届いていて、隅々まで念には念を入れた調整・取り付けを行う。そのシビアな光景を見ているだけで、緊張してしまうほどだ。取り付け作業で最も戸惑ったのは、ホイールの取り付けだった。ホイールとブレーキキャリパーの隙間が数センチしかなく、キャリパーに当てないように取り付けるのはとても難しかった。注意深く慎重に、それでいて素早く、しかも正確に。これぞメカニックの真髄では、ピットで感じたチームの連携力。それぞれがやるべきことをきっちりやり、次の作業へ連携していく。文字通り一心同体でひとつの目標に向かっていく熱意・意気込みは気迫にあふれていた。その精神を受け継ぎながら今回学んだことを活かし、後輩の教育にもより一層力を入れていきたいと思った。個人的には昔から好きだったレースに、チームの一員として参加でき感激だった。また機会があればぜひとも参加したい。」

